

全銀EDIシステム（愛称ZEDI）について

1 全銀EDIシステムについて

全銀EDIシステムは、一般社団法人全国銀行協会（以下、「全銀協」という。）および一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク（以下、「全銀ネット」という。）が、企業様の決済事務の効率化、生産性の向上に向けて、企業間の銀行送金電文に取引明細情報や、請求書情報、担当者連絡先等の情報（以下、「金融EDI情報」という。）を電子的に交換可能とするため、2018年12月に新たなプラットフォームとして構築されました。

本システムは、売掛金、リベート等の自動消込等による企業様の決済事務の効率化、生産性向上を目指し、将来的には金融機関による新たな決済サービスの提供、イノベーションの推進をサポートすることを目的としています。



図1 本システムご利用による期待効果

2 全銀 EDI システムの概要

(1) 全銀 EDI システムの利用イメージ

本システムを介した、商流情報と振込情報の連携イメージを図 2 に示します。

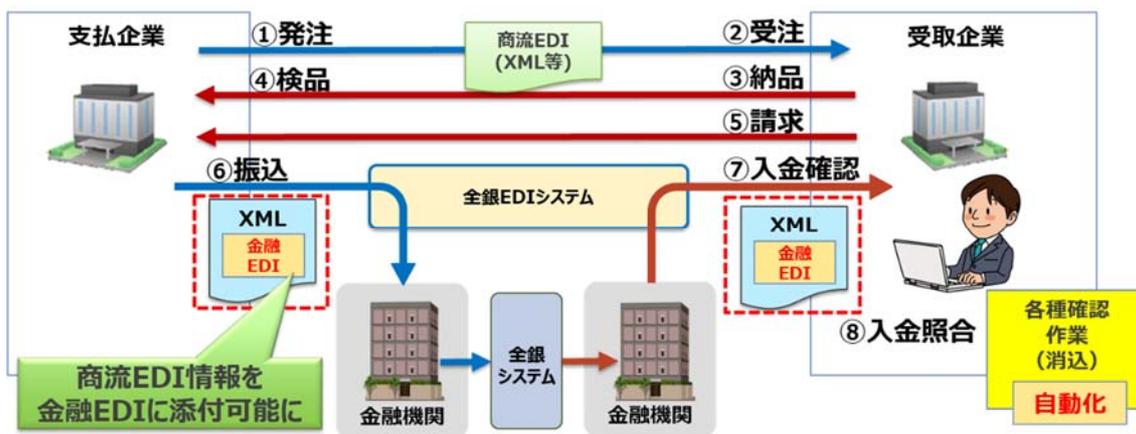


図 2 商流情報と振込情報の連携イメージ

(2) 金融 EDI 情報ご利用可能サービス種別および利用可能チャネル

本システムの利用可能サービス種別（適用業務）および利用可能チャネルを表 1 に示します。

表 1 金融 EDI 情報の利用可能サービス種別とチャネル

区分	適用業務 ※1	対象チャネル
連絡	総合振込	・法人インターネットバンキング (IB) ・一括データ伝送 (ファームバンキング (FB)) ※2
照会	振込入金明細照会	
	入出金明細照会	

※1 給与振込・賞与振込・口座振替（結果照会含む）等は適用業務の対象外となります。

※2 通信パッケージや FB ソフト等を利用してデータを伝送するサービス。



XML とは

XML (eXtensible Markup Language=拡張可能な意味付け言語)とは、文書やデータの意味や構造を記述するための意味付け(マークアップ)言語です。

入力されたデータ内容の前後に「タグ」と呼ばれるルールの決まった文字を挿入し印を付けることで、データ内容の意味付けを行います。意味付けする際に、文字列の前に置くタグを「開始タグ」、後ろに置くタグを「終了タグ」と呼び、開始タグは「<ルール名>」、終了タグは「</ルール名>」という形式で示されます。

XML を使用したデータの記述イメージを下記に示します。

```
<支払情報>  
<支払通知書番> 01234567 </支払通知番号>  
<支払通知発行日> 20181225 </支払通知発行日>  
<製品名> 飲料水 </製品名>  
<単価> 120 </単価>  
<個数> 1000 </個数>  
</支払情報>
```

青字 : XML タグ

赤字 : データ内容



XML 形式レコード・フォーマットについて

全銀協において、本システムが取り扱う適用業務および各適用業務におけるレコード・フォーマット(XML 形式)を制定しています。

<https://www.zenginkyo.or.jp/news/detail/nid/8335/>

【出所】「XML 形式適用業務およびレコード・フォーマット」の制定について
(全国銀行協会)

3 ご利用開始方法について（法人インターネットバンキング）

（1）企業様の準備事項について

本システムのご利用を検討いただく際の検討手順や準備いただく事項を表2に示します。

表2 企業様の準備事項

手順	項目	内容
1	お申込み	お取引店に対して法人インターネットバンキングのデータ伝送サービス（総合振込、入出金・振込入金明細照会）をお申し込みください。
2	環境の準備	インターネットバンキングの初回設定等、ご利用環境をご準備ください。
3	現在使用している会計・販売管理ソフト等への影響確認 【3（2）企業様側システムの主な対応方法】	現在使用している会計ソフトへの影響についてご確認ください。必要に応じて、本システム対応ソフトの購入や改修をご検討ください。
4	取引先との調整	取引先と必要に応じて、金融 EDI 情報の設定方法について調整ください。

（2）企業様側システムの主な対応方法（法人インターネットバンキング）

金融 EDI 情報の作成および読み込みに関する主な対応内容（例）を表3に示します。

下記は一般的な例であり、詳細については貴社システム部門やシステムベンダへご相談ください。

表3 企業様側システム対応内容（例）

区分	対応方針	内容（想定）
業務 （金融 EDI 情報の作成および読み込み）	市販ソフトウェアの購入	会計、販売パッケージ等の市販ソフトウェアをご利用いただき対応します。 詳細については各ソフトウェアベンダにお問合せください。
	自社開発	自社開発した業務システムで対応します。
	S-ZEDI（作成のみ）	市販ソフトウェア等を利用せず、全銀ネットを用意するウェブブラウザから手入力において金融 EDI 情報を添付したデータ（XML 形式のデータ）を作成します。

4 S-ZEDIのご利用について

(1) 機能概要

S-ZEDIとは、全銀ネットが提供するWEBブラウザ上の画面入力で簡単に金融EDI情報を添付したXML形式の総合振込ファイル(pain.001)を作成する機能です。S-ZEDIの利用方法の概要は以下のとおりですが、**詳細については全銀ネット Web サイトをご参照ください。**

(2) 利用イメージ

S-ZEDIの利用イメージを図3に示します。

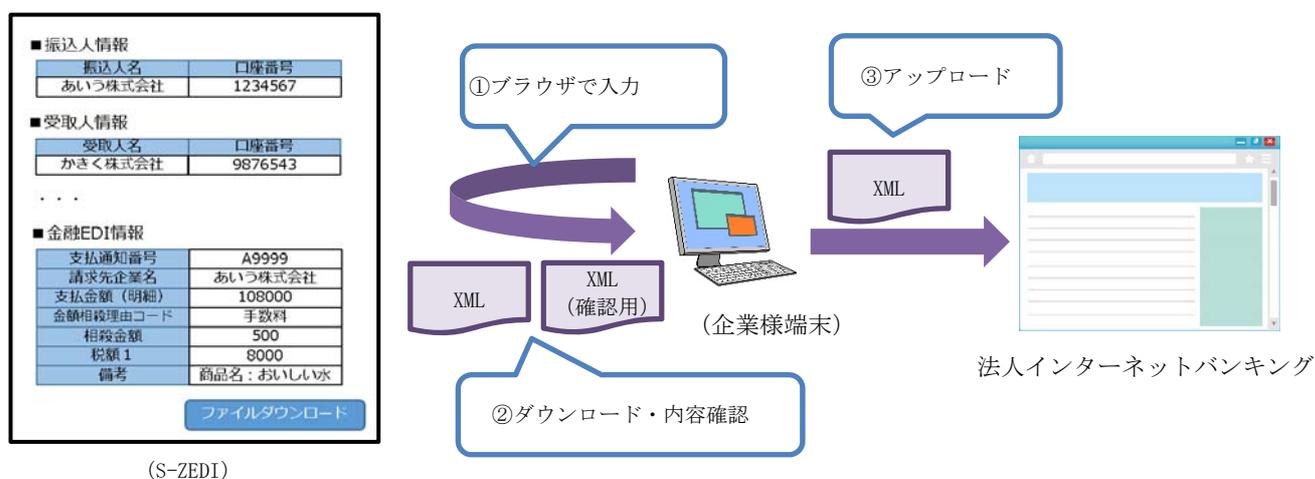


図3 S-ZEDIの利用イメージ

①ブラウザで入力

S-ZEDIのWEB画面にアクセスし、ブラウザ上で振込に必要な情報（仕向／被仕向口座情報や金額等）および金融EDI情報を入力します。

②ダウンロード・内容確認

総合振込依頼明細ファイルおよび総合振込依頼明細（確認用）ファイルをダウンロードし、総合振込依頼明細（確認用）ファイルにて内容に誤りがないことを確認します。

③アップロード

②でダウンロードした総合振込依頼明細ファイルをご利用の法人インターネットバンキングにアップロードします。

※アップロードの手順等、法人インターネットバンキングの操作に関する不明点は、サポートデスク（0120-089-054）にお問合せください。

(3) 利用方法

①WEB画面へのアクセス

WEBブラウザからS-ZEDIのURL (<https://www.simple.zedi.jp>) にアクセスします。

②支払情報の入力

振込依頼人情報入力画面（図4）において、取組日、振込依頼人情報等を入力します。

グループメッセージID、支払情報IDは、XMLファイルの仕様上必須項目となります。初期値として現在日時（YYYYMMDDhhmm）+“001”が表示されますので、異なるIDにしたい場合は変更してください。利用しない場合には、特に変更の必要はございません。

全銀EDIシステム
利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成 総合振込依頼 振込情報入力
本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。
※は必須項目です。

■ 取組日
取組日(振込指定日) ※
(YYYYMMDD)

■ 振込依頼人情報
振込依頼人コード ※ (半角数字10桁)
振込依頼人名 ※ (半角40文字以内)
法人番号(法人マイナンバー) ※ (半角数字13桁)
銀行番号 ※ (半角数字4桁)
銀行名 ※ (半角15文字以内)
支店番号 ※ (半角数字3桁)
支店名 ※ (半角15文字以内)
預金種目 ※ (半角数字7桁以内)
口座番号 ※ (半角数字7桁以内)

■ 取引管理情報
グループメッセージID ※ 注1 (半角35文字以内)
支払情報ID ※ 注2 (半角35文字以内)
注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに該当する任意の番号を入力してください。
注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に該当する任意の番号を入力してください。

■ 取引明細一覧
取引明細入力 (3) 取引明細画面への遷移
取引明細追加

■ 取引明細合計
合計件数(件) 0
合計金額(円) 0

総合振込依頼明細(確認用) ファイルダウンロード
入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをごダウンロードします。このファイルは内管確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

総合振込依頼明細 ファイルダウンロード
総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをごダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図4 振込依頼人情報入力画面

③取引明細画面への遷移

取引明細入力ボタンを押下し、取引明細入力画面（図5）に遷移します。

④取引明細情報の入力

取引明細入力画面（図5）において、受取人情報、振込金額等を入力します。

⑤金融 EDI 情報の入力

必要に応じて、取引に紐付く金融 EDI 情報を入力します。

金融 EDI 情報は、1 取引明細あたり最大 10 件まで入力可能です。

金融 EDI 情報の項目については、「表4 S-ZEDI の金融 EDI 情報について」をご参照ください。

全銀EDIシステム
 利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成_総合振込依頼_取引明細入力
 本画面では、受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力します。
 ※は必須項目です。

(4)取引明細情報の入力

■受取人情報

受取人名 ※	法人番号(法人マイナンバー)	手形交換所番号
(半角90文字以内)	(半角数字13桁)	(半角数字4桁)

銀行番号 ※	銀行名	支店番号 ※	支店名
(半角数字4桁)	(半角16文字以内)	(半角数字3桁)	(半角16文字以内)

預金種目 ※ 口座番号 ※
 (半角数字7桁以内)

■振込金額

振込金額(円) ※
(半角数字10桁以内)

■その他取引明細情報

取引明細識別番号 ※注1	顧客コード1	顧客コード2
(半角95文字以内)	(半角10文字以内)	(半角10文字以内)

振込指定区分	振込表示	ダミー(ヘッダー)	ダミー(データ)	新規コード ※注2
<input type="checkbox"/>	(半角1桁)	(半角17文字以内)	(半角7文字以内)	<input type="checkbox"/>

注1 取引明細を識別するための任意の番号を入力してください。S-2EDIでは1ファイルあたり最大10件の取引明細を作成可能です。
 注2 新規コードを下記記号のうち1つを選択して下さい。選択内容は、振込依頼内容に反映され、本取引の金融機関間で連携いたします。
 ①(その他) ②(振込1回振込) ③(振込2回(振込1回銀行、振込2回振込)) ④(振込種目・口座番号)

(5)金融EDI情報の入力

金融EDI情報1	
業界区分 (半角英数字3文字以内) (1)	
データ区分 (半角英数字3文字以内) (1)	
支払通知番号 (金半角(自由入力)40文字以内) (1)	
支払通知発行日 (YYYYMMDD) (1)	
請求番号(入力履歴) (金半角(自由入力)40文字以内) (1)	
支払人企業法人コード(入力履歴) (半角数字13桁) (1)	
受取人企業法人コード (半角数字13桁) (1)	
請求先企業名 (金半角(自由入力)40文字以内) (1)	
請求先企業法人コード (半角数字13桁) (1)	
支払金額(明細) (半角英数字10文字以内) (1)	
金額相殺理由 (金半角(自由入力)40文字以内) (1)	
相殺金額 (半角英数字10文字以内) (1)	
残額1 (半角英数字10文字以内) (1)	
残額1 (半角数字3桁以内) (1)	
残額2 (半角英数字10文字以内) (1)	
残額2 (半角数字3桁以内) (1)	
残額(合計) (半角英数字10文字以内) (1)	
備考 (金半角(自由入力)140文字以内) (1)	

(6)取引明細一覧へ反映
(振込依頼人情報入力画面へ遷移)

※0分以上操作がない場合、入力された情報が破棄されます。
 ※パスワードに半角英数字がある場合は、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図5 取引明細入力画面

⑥取引明細一覧へ反映

取引明細情報、金融 EDI 情報の入力が完了したら、取引明細一覧に反映ボタンを押下し、振込依頼人情報入力画面（図6）に遷移します。取引明細一覧に入力した内容が反映されます。

⑦取引明細情報の追加

取引明細情報を追加する場合は、③～⑥を繰り返します。

取引明細情報は、1ファイルあたり最大10明細まで登録可能です。

⑧確認用ファイルの取得

入力が完了したら、総合振込依頼明細（確認用）ファイルダウンロードボタンを押下し、確認用のXMLファイルを取得し、内容を確認します。

※確認用ファイルは金融EDI情報が変換されていないため、確認・保存用としてご利用ください。

⑨XML ファイルの取得

内容確認後、総合振込依頼明細ファイルダウンロードボタンを押下し、XML ファイルを取得します。

全銀EDIシステム
 利用可能時間 8:00~19:00 マニュアルダウンロード 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成_総合振込依頼_振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。
 ※は必須項目です。

■取組日

取組日(振込指定日) ※
20181225 (YYYYMMDD)

■振込依頼情報

振込依頼人コード ※	振込依頼人名 ※	法人番号(法人マイナンバー)	
1234567890 (半角数字10桁)	ワケ行インコイ (半角40文字以内)	1234567890123 (半角数字18桁)	
銀行番号 ※	銀行名	支店番号 ※	支店名
0000 (半角数字4桁)	シムケンゾクイ (半角15文字以内)	000 (半角数字3桁)	シムケンゾクイ (半角15文字以内)
預金種目	口座番号		
1(普通預金)	0000000 (半角数字7桁以内)		

■取引管理情報

グループメッセージID ※ 注1	
201512250800001 (半角35文字以内)	

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細
 注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に割当てる任意の

取引明細入力画面で入力した情報が反映されます。

■取引明細一覧

項番	削除	取引明細編集	受取人情報				振込金額(円)	金融EDI情報入力	
			銀行番号	支店番号	預金種目	口座番号			
1	<input type="checkbox"/>	取引明細編集	9999	999	1(普通預金)	9999999	ワケ行インコイ	1,000,000,000	有

取引明細入力 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力する画面へ移動します。
 取引明細削除 チェックした取引明細を一覧から削除します。

■取引明細合計

合計件数(件)	合計金額(円)
1	1,000,000,000

総合振込依頼明細(確認用)ファイルダウンロード このファイルは総合振込に利用するXMLファイルを作成するための確認用ファイルです。XMLファイルダウンロード後は、総合振込に利用できません。

総合振込依頼明細ファイルダウンロード 総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。
 本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問合せください。

図6 振込依頼人情報入力画面



確認用ファイルについて

S-ZEDIでは、総合振込に利用できるXMLファイルと、金融EDI情報の内容を確認することのできる確認用ファイルの2種類のファイルがダウンロード可能です。

総合振込用のXMLファイルでは金融EDI情報が変換された形式で作成されます。確認用ファイルは金融EDI情報が変換されずに作成されるため、内容確認が必要な場合は確認用ファイルをダウンロードしてご利用ください。

ただし、確認用ファイルは総合振込においてはご利用いただけませんのでご注意ください。

■金融EDI情報の出カイメージ

【金融EDI情報の変換あり(XMLファイル)】

変換されていて
内容確認不可

<RmtInf>

```
<Ustrd>MIME-Version: 1.0</Ustrd>
<Ustrd>Content-Type: text/xml</Ustrd>
<Ustrd>Content-Transfer-Encoding: base64</Ustrd>
<Ustrd>TM3DOWEMPQxMZAgyN...TEBL5MTAC9+b2IQo</Ustrd>
<Ustrd>Q5MDEwMTAwMDIAwMT...8YnV5ZXI+DQogICAg</Ustrd>
:
:
<Ustrd>CgOKDQoNCgOKICAgICAg</Ustrd>
```

</RmtInf>

【金融EDI情報の変換なし(確認用ファイル)】

変換されておらず、
入力した内容が確認できる

<RmtInf>

```
<Ustrd>
  <EDIInf1>
    <SubsetSpecifiedID>業界区分</SubsetSpecifiedID>
    <BusinessProcessSpecifiedID>データ区分</BusinessProcessSpecifiedID>
    <ExchangedDocumentID>支払通知番号</ExchangedDocumentID>
    :
    :
    <TaxTotalAmount>税額(合計)</TaxTotalAmount>
    <Content>備考</Content>
  </EDIInf1>
</Ustrd>
```

</RmtInf>

(4) S-ZEDI の金融 EDI 情報について

S-ZEDI の金融 EDI 情報の項目を表 4 に示します。

表 4 S-ZEDI の金融 EDI 情報項目

項番	項目名	項番	項目名
1	業界区分	11	金額相殺理由
2	データ区分	12	相殺金額
3	支払通知番号	13	税額 1
4	支払通知発行日	14	税率 1
5	請求書番号	15	税額 2
6	支払人企業法人コード	16	税率 2
7	受取人企業法人コード	17	税額 (合計)
8	請求先企業名	18	備考
9	請求先企業法人コード		
10	支払金額 (明細)		



S-ZEDI の金融 EDI 情報項目について

金融 EDI 情報の項目については、経済産業省・中小企業庁主催の「金融 EDI における商流情報等のあり方検討会議」において、金融 EDI 情報として格納すべき商流情報として項目の整理がなされております。

<http://www.chusho.meti.go.jp/koukai/kenkyukai/kinyuedi/2016/161222kinyuedi.pdf>

【出所】「金融 EDI 情報として格納すべき商流の整理について(2016 年 12 月 22 日)」

(中小企業庁研究会 金融 EDI における商流情報等のあり方検討会)

S-ZEDI の金融 EDI 情報項目は、上記項目の中から必要と思われる 12 項目に「備考」等 6 項目を加えた 18 項目で整理を行っております。